

久野康成の

「私なら、こうする！」

非常識な実践経営アドバイス



第21回【新人ですが、単調な仕事ばかりで面白くありません】

Question

新入社員として、今年から社会人の仲間入りをしました。同期が十数名いるのですが、入社して2カ月もたたないうちに退職してしまつた人がいます。彼は、会社に期待していたことと、実際の業務があまりにも懸け離れていてモチベーションが上がらないと言っていました。私自身も、入社し2カ月がたち、仕事に慣れてきました。が、単調な仕事ばかりで面白くも思えません。せつかく入つた会社ですが、もっとやりがいのある仕事を探すべきでしょうか？

(東京都 新入社員)

Answer

単調な仕事を真面目にやるか、上司は見ている

私が公認会計士になって初めて仕事をした時、来る日も来る日も単純な数字のチェックに明け暮れていました。会計士になれば、きつと躍動感のある楽しい仕事が出てくると期待していたのですが、実際はあまりにも地味で単調極まりないものでした。同僚に「監査は楽しい

か？」と尋ねても、みんな「つまらない仕事だ」と言いました。あれほど苦労して取つた資格なのに、現実とのギャップに戸惑いを感じたものでした。

ある時、先輩に同じ質問をすると、「監査ほど楽しい仕事はない」というので、なぜかと聞くと、「あと、半年もすれば分かるよ」と言われました。なぜ、時間がかつと楽しくなるのかよく分かりませんが、実際、半年

[プロフィール]
久野康成(くの・やすなり)
公認会計士。人財開発・東京コンサルティングファーム会長兼 CEO。東京税理士法人統括代表社員。1965年生まれ。愛知県出身。滋賀大学経済学部を卒業後、青山監査法人(プライス ウォーターハウス)入所。監査部門・中堅企業経営支援部門にて、主に株式公開コンサルティング業に携わる。98年久野康成公認会計士事務所を設立。東京のほか、横浜、名古屋、大阪、インドにて「第2の会計事務所として会社を設立。経理部門へのスタッフ派遣・紹介など幅広い事業を展開し、グループ社員総数は360人に上る。著書に『できる若者は3年で辞める!』『2008年版 図解インドの投資・会計・税務の基本』『母性の経営—management therapy』(共に出版文化社)がある。

たってみると、これほど楽しい仕事はないと私も実感できるようになりました。

私が勤めていた監査法人では、ビジネス・アプローチという監査手法を取っていました。今では当たり前ですが、当時としては、画期的な方法論でした。これは細かな数字を検証して決算書の適正性を判断するのではなく、企業のビジネスを理解して、そのビジネスならいかなる決算書になるべきかという仮説を立て検証していくトップダウン・アプローチです。これができるようになるには、知識と経験が必要です。監査は単なる数字合わせではなかったのです。

入社してすぐの仕事と比べ、場合によっては、お花見の席取りとか、コピー取りかもしれない。確かにこれでは、仕事にやりがいを感じるなどできないでしょう。でも単純な仕事だからと思つて、いい加減な仕事をすれば、ひどく怒られます。上司は、部下に単純な仕事を頼み、そ

の仕事の姿勢を見ているのです。単純な仕事をいい加減にする人に、将来、重要な仕事を任せられるでしょうか？ 重要な仕事を任されるのは、信頼された人です。信頼を勝ち取るためには、どんな単純な仕事であつても、仕事を選ばず、前向きにできるかが重要です。上司から、単純な仕事でも信頼度を試されているのです。

あなたは今、入社し数カ月がたち、会社を品定めしようとしています。しかし、これは、同時にあなたの上司もあなた自身の品定めを行っているのです。私が監査法人に入り、3、4年経たるとき、私も部下を使う立場になりました。同僚たちと飲みに行けば、今年の新卒は、誰が使えるとか、使えないとか、もっぱらそんな話題でした。自分がこんなことを話す立場になって、初めて自分が先輩社員から品定めされていたことが分かり、ぞっとしました。私たちは、見られていないようで、しっかり人から見

られているのです。

今は不平不満を言うのでなく修行をする時です

今すぐに将来に対して目標設定ができないのなら、簡単に見つかる方法を教えましょう。あなたも、あと10カ月もしないうちに来年の新入社員が入社してきます。その新入社員からすれば、あなたは立派な先輩となるわけです。そして、彼らもまた先輩社員の品定めをします。その時、あなた自身が後輩から目指されるべき先輩になっているかが重要です。どんな会社に入り、どんな仕事をしているかは関係ありません。あなた自身が後輩から目指されるべき人間になれるかは、すべてあなた自身の問題なのです。

楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しくなるのです。仕事を楽しいか否かと考えるより、どうすれば、もつと楽しくできるのかを考えれば、自然と楽しめるようになるのではないで

でしょうか？ 仕事以外に生きがいを見つけ、仕事を単に生活の手段にすれば、その先の40年、さらに辛くなるばかりです。

私たちの「今」は、過去の意思決定の結果です。「今」が良くないとすれば、過去の意思決定の誤りと言えます。しかし、過去に意思決定したとき、その時は正しいと思つたはずで、子供の頃、親から勉強しろと何度言われてもしなかったのも、自分自身の意思であり、学生時代に怠惰な生活をしたとしても、すべては自分の意思決定の結果です。今のあなたの選択の良否は、将来のあなたの姿でしか分かりません。

過去に自分が良かれと思ひ選んだことも、今になればその誤りに気付くことができます。今は自分の意思より、先人の教えに従い修行する時なのです。

(このコーナーでは、経営に関するよろず相談を読者の皆様から受け付け、実践的アドバイスとしてお答えしております)